

# CLUB HARLEY

狙うはアジア!?  
ストリート世界発表!!



毎月14日発売  
クラブ・ハーレー  
定価 980yen

2014年1月号(毎月14日発売)  
12月14日発売  
第14巻第1号通巻151号

1 2014  
January  
Vol.162

ride the HARLEY-DAVIDSON.



こうしてボクは  
オーナーになつた。

十人10色のハーレー物語。

【カスタムインスピレーション】  
チョッパーの美学が宿る  
身近におけるツインカム

【ライダーズワードローブ】  
ハーレー乗りがねだる、欲しがる  
シルバー&  
ブラスジュエリー。



# カタログを見ただけで惚れ込み 手に入れたCVOに大満足。

'13 FXSBSE CVOブレイクアウト & 坪井一明さん

text/H.Nakano 中野仁史 photo/D.Mochiki 持木大助  
取材協力/バイクプラザ ヤマノ TEL086-526-4575 www.bpy.co.jp

まさか手に入るとは  
思いませんでした。

クルマの免許と一緒に中型  
免許を取った坪井さんは、国  
産の中型アメリカンに乗って  
いた。

「映画のハーレーダビッドソ  
ン&マルボロマンを観て、いつかは  
ハーレーに乗りたいたいと思ってたん  
です」

そして、通販で初めて手に入れた  
中古のヘリテージはエンジンに問題  
があり、度々バイクプラザヤマノに  
修理に出すことになる。

「ヤマノで'13年モデルのカタログを  
見て、CVOのブレイクアウトに一  
目惚れしました。今まで見てきたハ  
ーレーにはない仕上りの美しさに  
衝撃を受けたんです。ただ、はじめ  
は入荷するかどうか分からないと言  
われていたので、諦めて100周年  
記念のローライダーを買いました。  
それから1か月後に手に入ると言わ  
れたときは悩みましたけど、結局ロ  
ーライダーは手放して、これを手  
に入れることにしました」

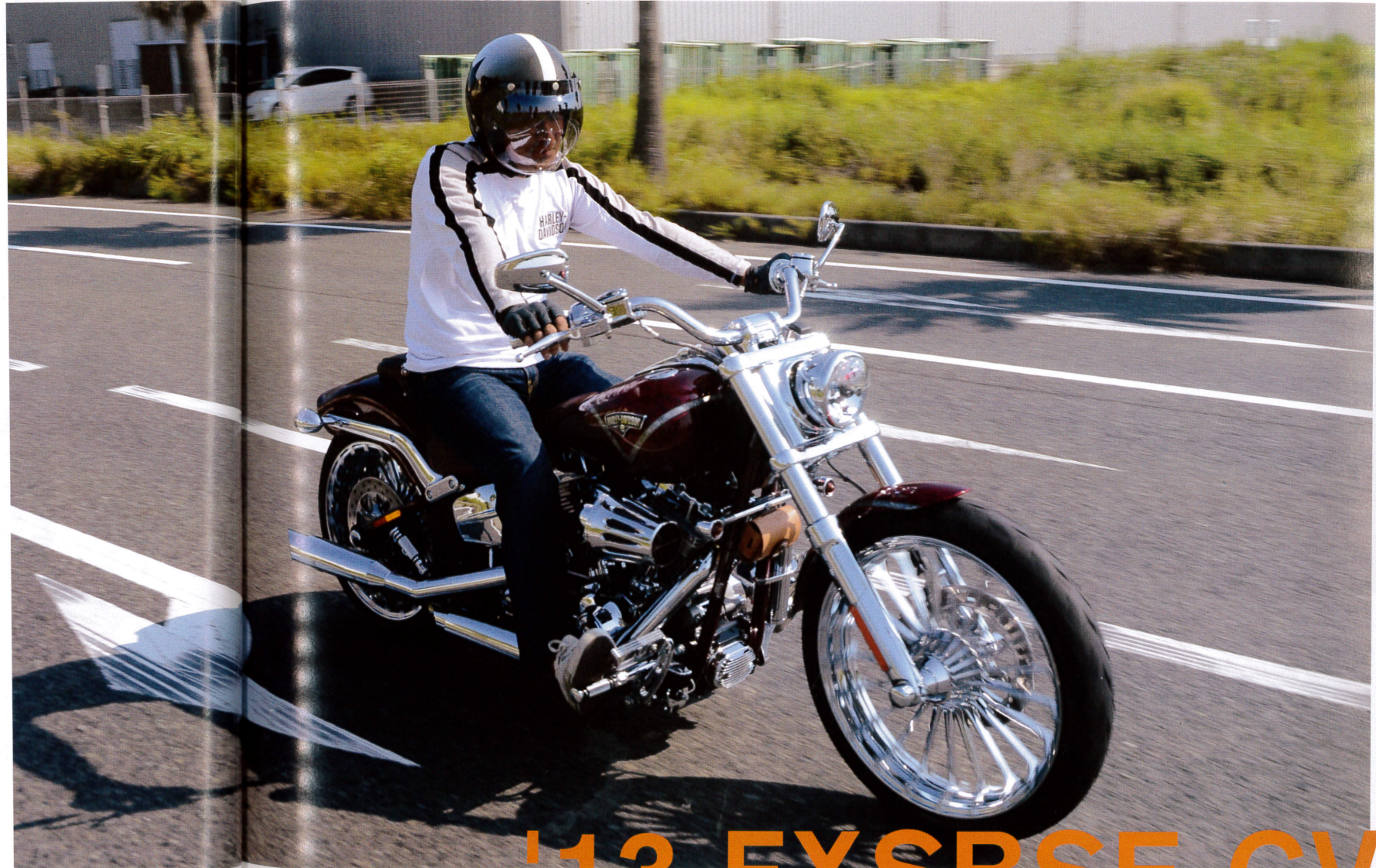
納車されてからまだ日が浅いため、  
カスタムはあまり進んでいないが、  
国内では必需品ともいえるETCの  
車載器やサドルバッグを装着。また  
ハンドルグリップやブレーキペダル  
ペグは、トライジャの製品に換えて  
いる。「今後は、もう少しリラック  
スして運転できるような形状のハン  
ドルバーを装着したり、シートを加  
工して座る位置を前の方に移動した  
いと思っています。せつかく気に入  
って買ったバイクなので、じっくり  
といじっていきたいですね。」



OWNER



建築関係の会社を経営  
している坪井一明さん。  
「ここ1年でハーレーを  
3台買いました(笑)」



# '13 FXSBSE CVO

## スチールの下地を生かした 美しい特殊塗装がポイント。

'13CVO ブレイクアウトは3色あっ  
たが、坪井さんが選んだのはクリム  
ゾンレッドサンゴロ&スカーレット  
レース。スチールの下地に磨きをか  
けて、クリアの赤を何層にも塗り重  
ねた美しいカラーリングだ。エンジ  
ンは110Bで、ワニ革風のレザーシ  
ートやミラークロームのタービンホ  
イルを標準装備



06 テール周りは本国仕様に近いデザイン。

日本仕様のナンバープレートは車体の中央に位置するが、これを本国と同じようにサイドマウントに変更。リフレクターも薄型で、スタイリッシュな印象だ

05 サドルバッグもデグナー製。

車体の左サイドに装着したサドルバッグは、ETC車載器のケースと同じくデグナー製。こちらはコンチヨなどが付かないシンプルなデザインで、さりげなさを演出

04 ポリッシュ仕上げのブレーキパッド。

ブレーキペダルパッドもトライジャのアルミ削り出し製に変更。将来的には、フットペグをフットボードに変更する計画だという

03 タン色のバッグにはETC車載器を収納。

ETC車載器は、デグナーのレザーケースに収納してダウンチューブに装着。レザーはタン色で、フラップベルトにはコンチヨが飾られている

02 フロントは小型プレットウインカーに。

フロントウインカーは、カスタムステータスでダウンチューブに移設。ウインカー自体も、小型のプレットタイプをチョイス。ハンドル周りをスッキリとさせている

01 トライジャのアルミ製グリップ。

ハンドルグリップは、坪井さんがお気に入りのトライジャの削り出し製に変更。クロムメッキ仕上げのスイッチハウジングにもマッチしている

